

競技注意事項および本大会申し合わせ事項

1. 競技規則 令和4年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項による。
2. 出場資格 (1)対校の部は、主催校の学部^に在籍する令和4年度関西学生陸上競技連盟登録者。
男子は1・2回生のみとする。
オープンの部は、主催校の承認を得た、令和4年度日本陸上競技連盟登録者。
(2)対校の部は、各大学1種目につき正選手2名、補欠1名までエントリーできる。
リレーは各大学1種目につき1チームとし、6名までエントリーできる。
(3)同一人の出場種目数は制限しない。
3. 競技方法 (1)対校競技のトラック使用レーン及び試技順は、以下の表に従い割り振ることとする。
(2)競技順序は、対校の部の後にオープンの部とする。ただし、女子4×100mRと男子4×400mRは、オープンの部の後に対校の部を行う。
(3)男女とも、800mの出発はセパレートスタートとする。
(4)フィールド種目の試技回数は、対校の部6回、オープンの部3回とする。
また、フィールド種目の試技順は4回目以降も変更しない。
(5)走高跳、棒高跳のバーの上げ方、三段跳の踏切板の位置は、当日のコンディションおよび審判の協議により決定する。
(6)フライングは一発失格とし、スタート指示は英語によるものとする。
4. 得点方法 (1)男子…1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点
女子…1位4点、2位3点、3位2点、4位1点とする。
ただしリレーに関しては男女共に、1位6点、2位3点、3位0点とする。
(2)失格、棄権は0点とする。
(3)総合得点と同じ場合は、1位種目数の多い大学を優勝校とし、さらに1位種目の数も同じである場合、2位種目の数により順位を決定する。以下これに順ずる。
5. 招集 (1)招集時刻はトラック種目・フィールド種目ともに競技開始20分前～10分前とする。ただし、棒高跳については競技開始70分前～60分前とする。リレーのオーダー用紙提出については各ラウンド第1組の招集完了時刻の1時間前までとする。
(2)2種目以上に出場し、競技時間が重なり点呼が受けられない場合は、事前に競技者係に申し出て指示を受けること。(腰ナンバーカードを忘れずに受け取ること。)
(3)本大会の招集は、現地コールで行う。
6. 代表者会議 当日朝に行う。その際に、注意事項の連絡、正選手の最終決定などを行う。

7. その他

- (1)アスリートビブスは、令和4年度関西学生陸上競技連盟登録番号を用いる。
- (2)アップについては、競技の妨げにならない程度で、バックストレートの使用を許可する。競技場周辺についても、一般の利用客の邪魔にならないように注意する。
- (3)WA規則第143条を適用し、本大会においては厚底シューズの使用は禁止する。
- (4)新型コロナウイルス感染症予防の観点から開閉会式は簡略化する。
- (5)表彰は男女それぞれトラックの部、フィールドの部、総合の表彰を閉会式にて行う。
- (6)本大会は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、原則無観客で開催し、事前に名簿の提出があった場合に限り入場を認める。
- (7)入場の際は事前に配布した入場チェックシートを記入・提出すること。
- (8)閉場時刻は17:00となっているため、片付け、撤収に注意を払うこと。
- (9)ごみは各自で持ち帰ること。
- (10)本大会の結果の掲示は、アスリートランキングにて行う。
- (11)本大会の競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。ただし、2022年度公益社団法人日本学生陸上競技連盟普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、これが適用される場合がある。

レーン順・試技順表

主管校	京都大			大阪大			神戸大		
	京都	大阪	神戸	京都	大阪	神戸	京都	大阪	神戸
レーン	2・5	3・6	4・7	4・7	2・5	3・6	3・6	4・7	2・5
試技順	1・4	2・5	3・6	3・6	1・4	2・5	2・5	3・6	1・4